

1 情報教育部会の活動

(1) 第1回情報教育主任会

- ① 日時 平成26年4月18日(金)
- ② 場所 四国中央市立三島東中学校
- ③ 内容
 - ア 平成26年度役員選出
 - イ 本年度の研究主題、研修計画の決定
 - ウ 各校での取組の共有

(2) パソコンスキル「四国中央市情報教育 Can-Do List」の策定

- ① 日時 平成27年2月10日
- ② 内容

- ・ 小学校1年生から中学校3年生で身に付けたいパソコンスキルを明確化する。
- ・ 小学校段階において、基本的な操作を確実に身に付けさせ、また、ICTを適切に活用できるようにするための学習活動を積極的に取り入れるとともに、中学校段階において、その基礎の上で、ICTをより「主体的、積極的に」活用できるようにする。

学年	小学校	中学校	高等学校
学習目標	児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作を正確に行い、情報手段を適切に活用できるようにするための学習活動を実施する。	児童が情報手段を身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を実施する。	生徒が情報手段を身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を実施する。
A 実践力	基本的な操作 ・文字入力、電子ファイルの保存・取得 ・インターネットの検索、電子メールの送受信 など 情報手段の適切な活用 ・様々な情報源から必要な情報を収集し、必要とする情報を活用して課題の解決の仕方を見出す。 ・ICTを用いて情報の取扱いの仕方を見出す。 ・自分の考えや意見などを分かりやすく表現し、共有して発表し、情報手段を活用する など ・ICTを使って発表する	情報手段の適切な活用、積極的な活用 ・様々な情報源から必要な情報を収集し、必要とする情報を活用して課題の解決の仕方を見出す。 ・ICTを用いて情報の取扱いの仕方を見出す。 ・自分の考えや意見などを分かりやすく表現し、共有して発表し、情報手段を活用する など	情報手段の適切な活用、主体的な活用 ・様々な情報源から必要な情報を収集し、必要とする情報を活用して課題の解決の仕方を見出す。 ・ICTを用いて情報の取扱いの仕方を見出す。 ・自分の考えや意見などを分かりやすく表現し、共有して発表し、情報手段を活用する など
B 学習活動	情報手段の習得と情報活用力の育成(必修) ・コンピュータなどの各々の名称や基本的な操作、インターネットの基本的な特性を理解 ・情報手段を活用し、学習活動の過程や成果を振り返ることを通じて、自分の情報活用能力を改善するための学習活動を実施	情報手段の習得と情報活用力の育成(必修) ・コンピュータの構造と基本的な情報処理の仕組み、情報通信ネットワークの構成、メディアの特性と利用方法を理解し、コンピュータを有効に活用する能力を育成 ・情報手段を活用し、学習活動の過程や成果を振り返ることを通じて、自分の情報活用能力を改善するための学習活動を実施	情報手段の習得と情報活用力の育成(必修) ・情報や情報手段の特性や効果的な活用方法、問題解決において情報や情報手段を効果的に活用するなどの基本的な考え方を身につけて、社会生活、職業生活等に活用する能力の育成
C 学習態度	情報ツール ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す	情報ツール ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す	情報ツール ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す ・(情報手段で調べた)情報を活用する能力の向上を目指す

図1 小学校、中学校及び高等学校において身に付けさせたい情報活用能力

2 全体フォルダの活用

全体フォルダを通して、各小・中学校で情報を発信、共有している。各学校への連絡事項だけでなく、各校で授業実践した指導案やワークシート、資料などを共有し、授業づくりに役立てている。四国中央市では、どの学校においても、授業のユニバーサルデザイン化のためにICTの活用にも力を入れている。

また、全体フォルダ内の資料を活用してもらうために各校で周知させることにも力を入れている。今後、資料を蓄積し、ICTを活用した授業実践をさらに積極的に行っていききたい。



図2 全体フォルダの一部

3 成果と課題

9月に行った「情報教育実態調査」の結果から、コンピュータなどのICT機器を活用した授業を実践している教員は、少しずつではあるが増加している。全体フォルダを活用することによって、資料作りの時間を短縮することができ、今まで以上にICT機器を活用しやすくなってきた。しかしICT機器を活用する教員に偏りがあることから、児童生徒がICTを活用する力が身に付かないことが前年度も課題であった。今年度2月10日に、どの学校の児童生徒にもICTを活用する力が身に付くように、「四国中央市情報教育 Can-Do List」を策定する予定である。今後、ICTを活用する教員のレベルアップのための研修にも力を入れていきたい。

新居浜支部

1 はじめに

新居浜市では、電子黒板機能内蔵のプロジェクタや Web カメラが導入され、授業で活用できるように各校で研修などを行い、ICT を活用した授業にも積極的に取り組んでいる。

2 実践事例（新居浜市立泉川小学校）

(1) 電子黒板機能内蔵のプロジェクタの活用についての研修

本校では、夏季休業中に、電子黒板機能内蔵のプロジェクタの準備の仕方や電子黒板としての機能の使い方など、個人の能力に応じた研修を行った。

(2) Web カメラを活用した授業の実践例

《 第4学年 体育 B 器械運動 「マット運動」 》

マット運動の技を練習する上で、自分や友達の動きや提示資料から、ポイントや修正点に気付くことができるよう、技の練習時に、動画遅延装置を活用して、児童の思考判断を促す授業を実施した。

〈主な授業の流れ〉

準備運動



めあての確認



技の練習



まとめ



Web カメラを用いた動画遅延装置

ひざが曲がっていたんだ！



手の位置に注意してみたら？

〈動画遅延装置を活用した学習の様子〉

3 成果と課題

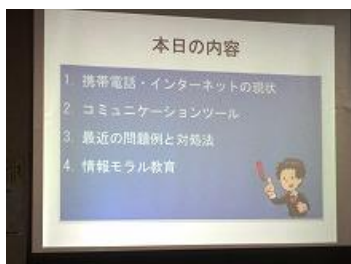
- 電子黒板機能内蔵のプロジェクタの活用については、今までの電子黒板より準備がしやすくなっているが、プロジェクタの台数が限られることや準備や片付けを毎回行うので、時間がかかるため活用しにくいことがあった。そこで、プロジェクタの台数を増やし、各学年に1台程度ワゴンにセットをして、すこしでも使いやすいように配置する予定である。
- Web カメラは、とても使いやすく、体育科の授業だけでなく、いろいろな教科の授業で活用することができる。実際に、体育で自分の動きを見ることは少ないので、Web カメラ（動画遅延装置）を使うと、自分の動きを操作なしにすぐに見ることができ、とても使いやすい。しかし、動画遅延装置は、直前の動きを1回しか見ることができず、スロー再生ができないなどの欠点があるため、タブレットを導入したほうがよいという声も上がっている。

1 平成 26 年度西条市情報教育部会夏期研修会

- (1) 日時 平成 26 年 8 月 12 日 (火) 9:00～10:30
- (2) 場所 西条市中央公民館
- (3) 研修内容

講座「インターネットや携帯電話のトラブルから児童・生徒を守るために」

- ・ ネット問題の現状把握
- ・ 児童・生徒への指導と家庭や地域との連携



2 西条市立小・中学校情報化推進委員会「夏期講演会」

- (1) 日時 平成 26 年 8 月 25 日 (月) 13:00～16:30
- (2) 場所 西条市東予総合福祉センター (ほほえみプラザ)
- (3) 研修内容

講演会

講演者 鳴門教育大学大学院 准教授 藤村 裕一

演題 「子どもの学びを支える 1 人 1 台タブレット PC、クラウド時代の教育の情報化」

3 成果と課題

西条市では情報化推進委員会と連携して情報教育の研修に努めており、研修会だけでなく、情報教育推進のための拠点校を設置して教育環境を整備して、様々な実践も行っている。これらの研修や実践を通して ICT 機器を活用することの意義や具体的な使い方などを学ぶことができた。今後は、各学校で実践可能なものから少しずつでも ICT 機器の活用を浸透させていくことや、どのような設備が必要かを検討して教育環境を整備することが必要である。

1 研究目標

教育の情報化を目指す学習指導の充実と実践化について研究する。

2 研究の充実に向けて

(1) 研究推進

- ① 情報機器やネットワークを活用した多様な教育
- ② コンピュータやインターネットに関する正しい知識やそれらを活用する技術
- ③ ネットワーク上のルールやマナー等の情報モラルの育成
- ④ 校務の情報化の推進

(2) 研究計画の立案

- ① 研修の在り方について
- ② 情報教育夏期実技研修会について
- ③ 情報の管理について

3 情報教育研修会

(1) 今治市教育研究所研修委員会

- ① 期日 平成 26 年 5 月 7 日（水）
- ② 会場 今治市立別宮小学校
- ③ 内容 研修計画の討議

(2) 情報教育研修会 各区正副委員長会

- ① 期日 平成 26 年 6 月 19 日（木）
- ② 会場 今治市立別宮小学校
- ③ 内容 情報教育夏期研修会について
 - ・ 実技研修会における研修内容の討議について
 - ・ 平成 26 年度情報教育研修会への参加について

(3) 情報教育夏季研修会

- ① 期日 平成 26 年 8 月 8 日（金）
- ② 会場 今治市立大西中学校
- ③ 内容 『授業や校務における ICT 活用及び授業改善』
 - ・ プレゼンテーションの在り方
 - ・ PowerPoint の活用実習
 - ・ 電子黒板の操作と実習

4 成果と課題

- (1) 情報教育夏期研修会では、昨年度に引き続き、視聴覚教育主任会と合同で研修会を実施した。教育センターの出前講座を活用し、電子黒板の操作や 2 学期へ活用できる教材作りについての研修会を行った。実際に各自で教材を作り、授業の一場面の模擬授業を行い、具体的に実用的な活用方法について知ることができ、大変有意義であった。
- (2) 情報の管理についての研修をより深めるため、情報教育主任会等で情報交換をしていく必要がある。